

令和3年度地方最低賃金審議会

第2回福島県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具 製造業最低賃金専門部会議事要旨

1 日時 令和3年10月19日(火)10:00~12:05

2 場所 福島合同庁舎3階共用会議室

3 出席者 公益委員 3名
労働者側委員 3名
使用者側委員 3名

4 議題

(1) 金額審議について

5 議事要旨

議題(1)について

- ・ 事務局から配付資料について説明を行い、その後、労使各委員から、電子部品等製造業における賃金実態や経済状況について意見交換が行われた。
- ・ 労働者側委員からは「国内電機産業の2020年度業績は、新型コロナウイルス感染症拡大による景気的大幅な悪化と米中対立の影響を受け、売上高、営業利益ともに減収減益となったが、2021年度通期業績見通しは、先行きに不透明感はあるものの、各国での経済回復が見込まれることから、多くの企業において前年度比で増収増益を予想している。」との主張があった。
- ・ 使用者側委員からは「県内景気については、日銀公表と同じように依然として厳しい状況が続いているところで、生産活動は一進一退、雇用労働については緩やかな改善がみられる。パート労働者の賃金を見ると下がっている状況があるので雇用情勢をみると新規求人など出ている割には給料が下がっているのか、賃金が少し上がると影響率がすごく上がる状況の中でどのように判断していいのかが悩んでいるところ。去年と比べて若干良くなっているが、そんなに良くなっているわけではない状況だと判断している。」「新型コロナウイルス感染症の影響により東南アジアの工場が稼働停止しており、電子部品関連の組立工場では、部材が入ってこない状況。こうした状況は回復の見込みが見えておらず、来年以降も生

産現場が製造停止の状況になる可能性もあり、売り上げ見込みが大変厳しい状況。」との主張があった。

- ・ 労働者側委員からは「現行 834 円に、地域別最低賃金（以下「地賃」という。）の引上げ額 28 円プラス 2021 年春闘電機連合の最低賃金 18 歳見合いの時間換算の引上げ額 4 円を加算し、32 円を提示したい。」との主張があった。
- ・ 使用者側委員からは「7月の鉱工業生産指数を見ると、電気機械工業及び電子部品・デバイス工業は 100 を超えているが、情報通信機械工業は 5 月から 3 か月、30 を切る低水準であること。物価の状況は、福島市の 7 月の消費者物価指数は 99.3 で対前月比 0.3% 増だが、対前年同月比では 0.2% 減と令和 2 年 10 月から 10 か月下回っており、安定していること。賃金上昇率は、第 4 表 一般労働者及びパート労働者の賃金上昇率の D ランクのパートは、産業計でマイナス 0.2%、製造業でマイナス 1.5% となっており、パート部門は賃金引下げという深刻な状況であること。労働者 100 人未満の事業場の影響労働者と未満率が、小規模ほど影響率が高くなっていること。以上の状況を勘案すると、据え置きとせざるを得ない。」との主張があった。
- ・ 労働者側委員からは「現行 834 円に地賃の引上げ率 3.5% を乗じて 30.24 円、円未満切り捨てて 30 円を提示したい。」との主張があった。
- ・ 使用者側委員からは「令和 3 年度賃金改定状況調査結果第 4 表 の D ランク女性の賃金上昇率 0.6% を、現行額 834 円に乘じ 5.00 円。5 円を提示したい。」との主張があった。
- ・ 労働者側及び使用者側の主張に隔たりがあるため、継続審議となった。